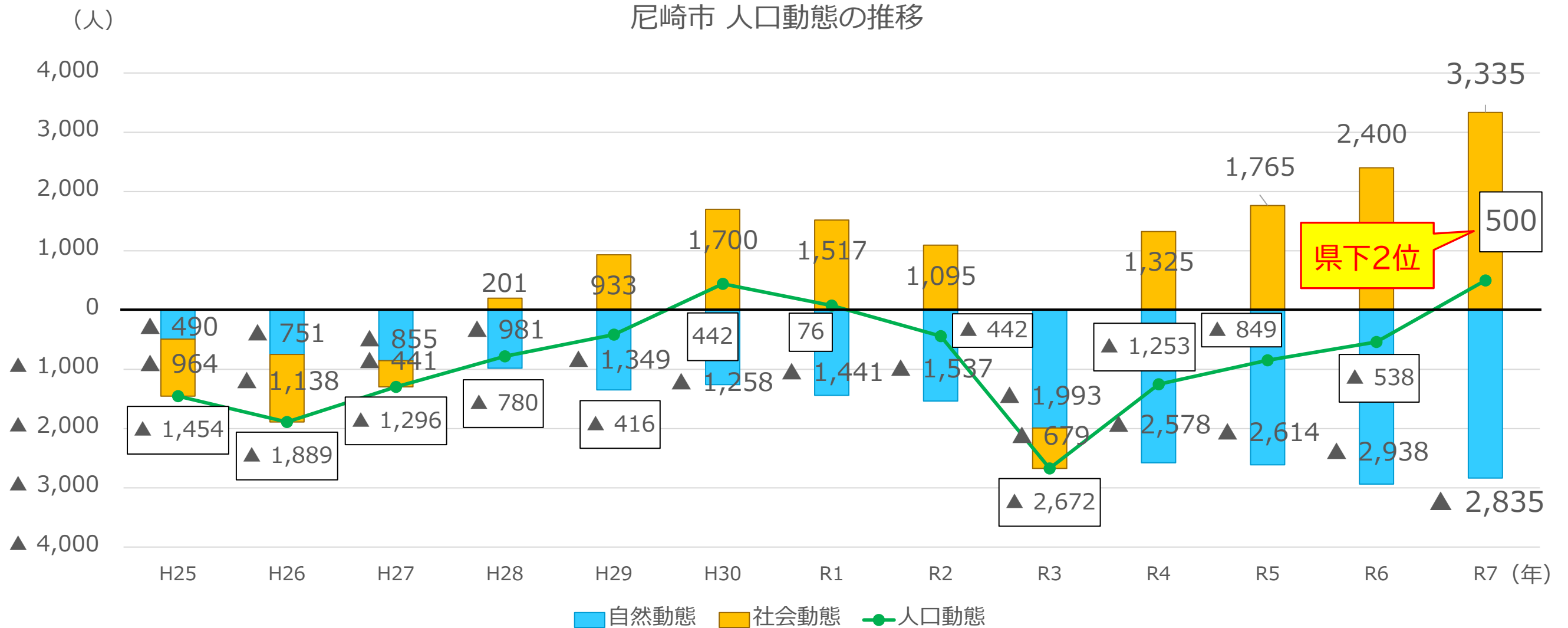


# 人口動態（平成25年～令和7年）

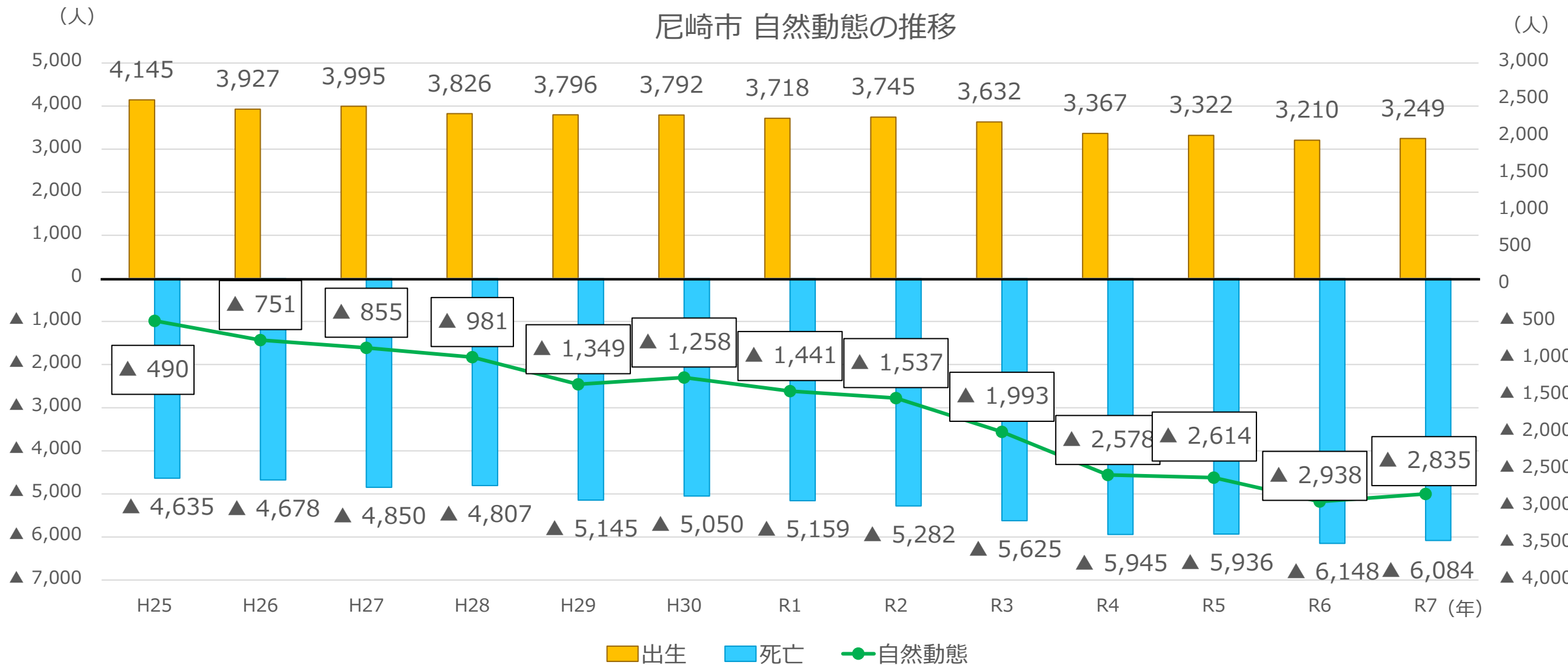


## 人口動態におけるポイント

- ①社会増が拡大し、**3,335人の転入超過**に（社会増は**県下2位**！日本人に限れば**県下1位**！）
- ②自然動態は**▲2,835人の減**と横ばい
- ③差し引きで**500人の「人口増」**に転じた（増加数は**県下2位**！）

※ 兵庫県「推計人口」を基に集計

# 自然動態（平成25年～令和7年）

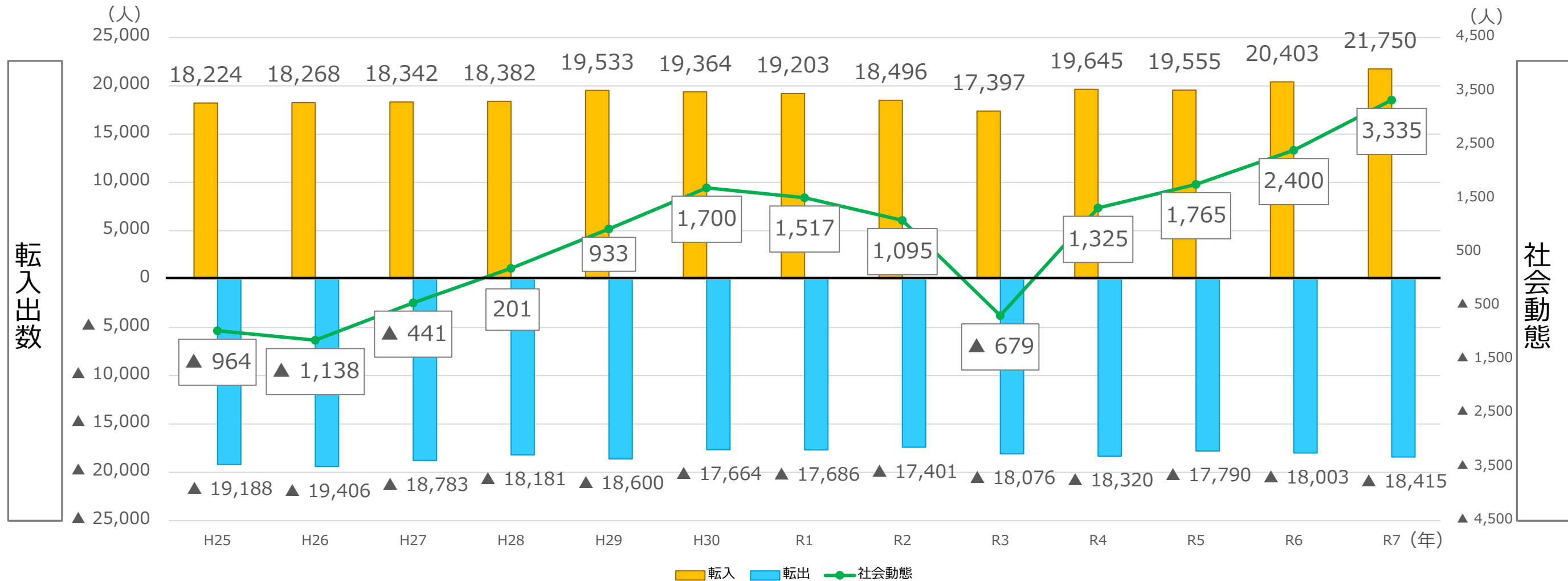


## 自然動態におけるポイント

①出生、死亡ともに横ばいで、大きな変化なし

# 社会動態（平成25年～令和7年）

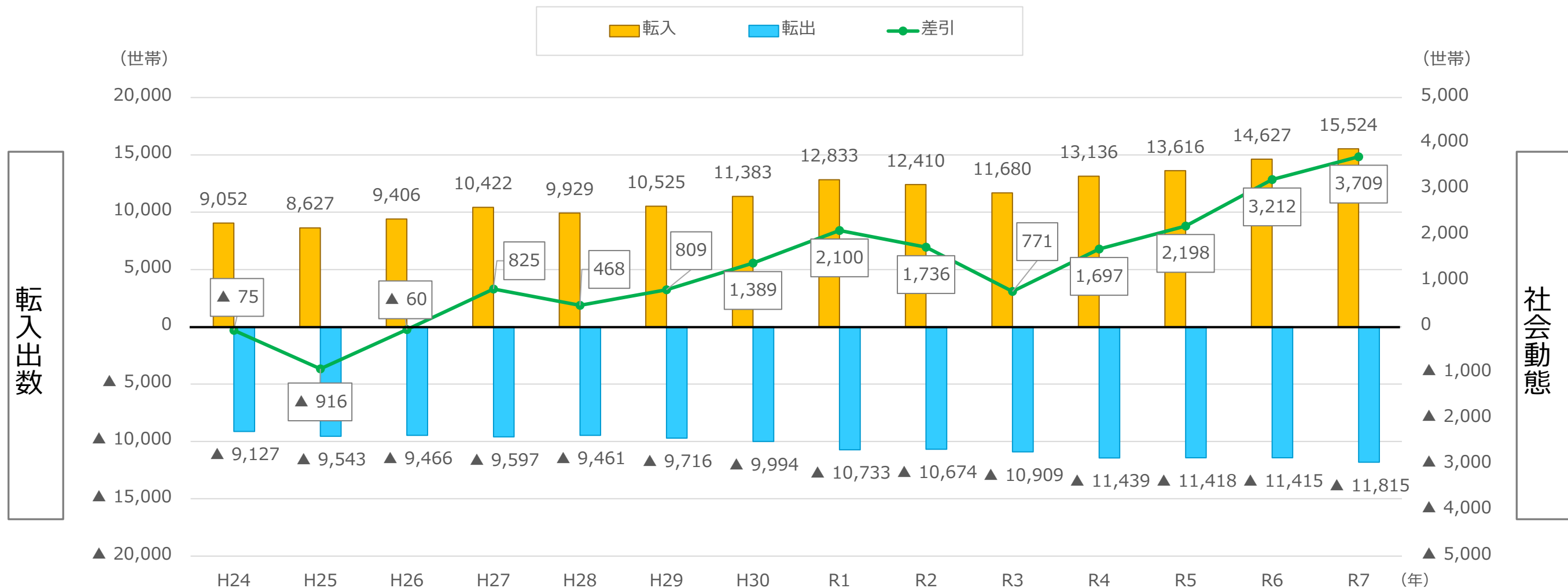
尼崎市 社会動態の推移



## 社会動態におけるポイント

- ①（再掲）社会増がさらに拡大し、全体で**3,335人の転入超過**に
- ②転入・転出ともに増加しているが、転入の増加が大きく、転入超過が拡大

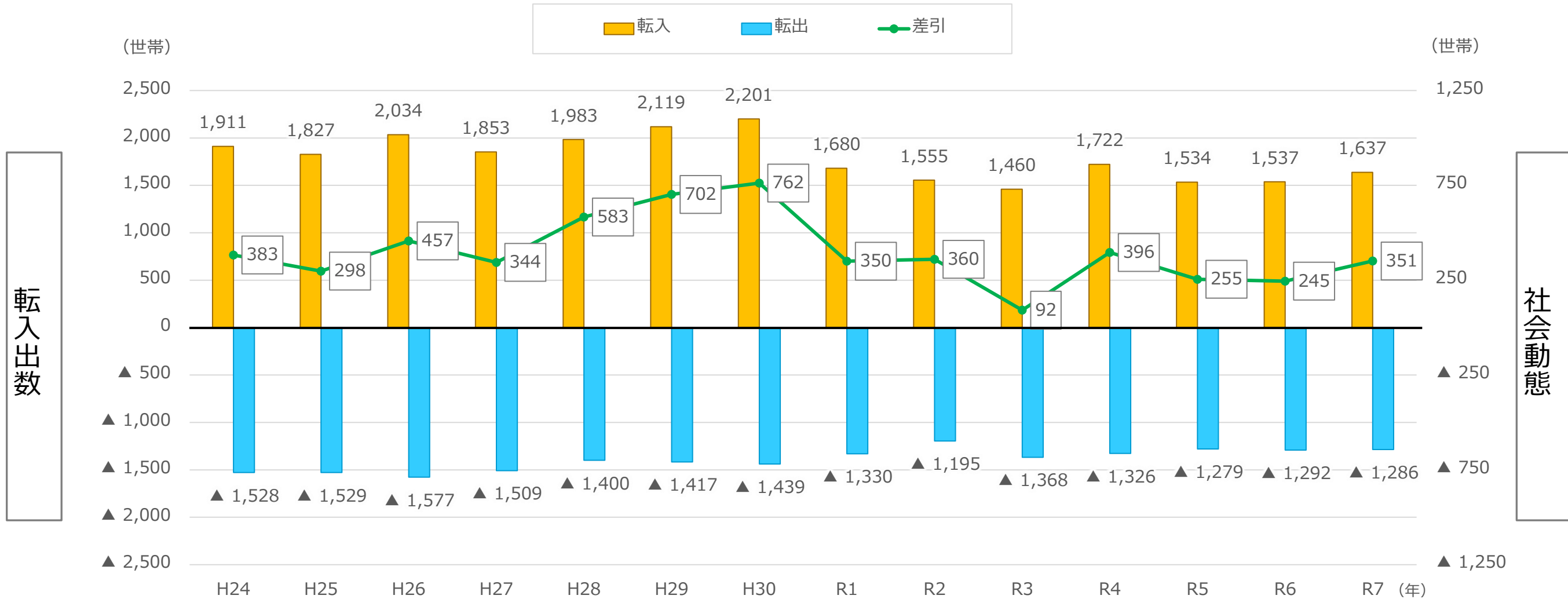
# 単身世帯の社会動態（平成24年～令和7年）



## 単身世帯の社会動態におけるポイント

- ①単身世帯の**転入超過**が**3,709世帯**に拡大
- ②単身の転入者は、**20代が多く、西宮市・神戸市からの転入超過**が多い
- ③単身の転出者は、**大阪市・東京圏への転出超過**傾向が見られる

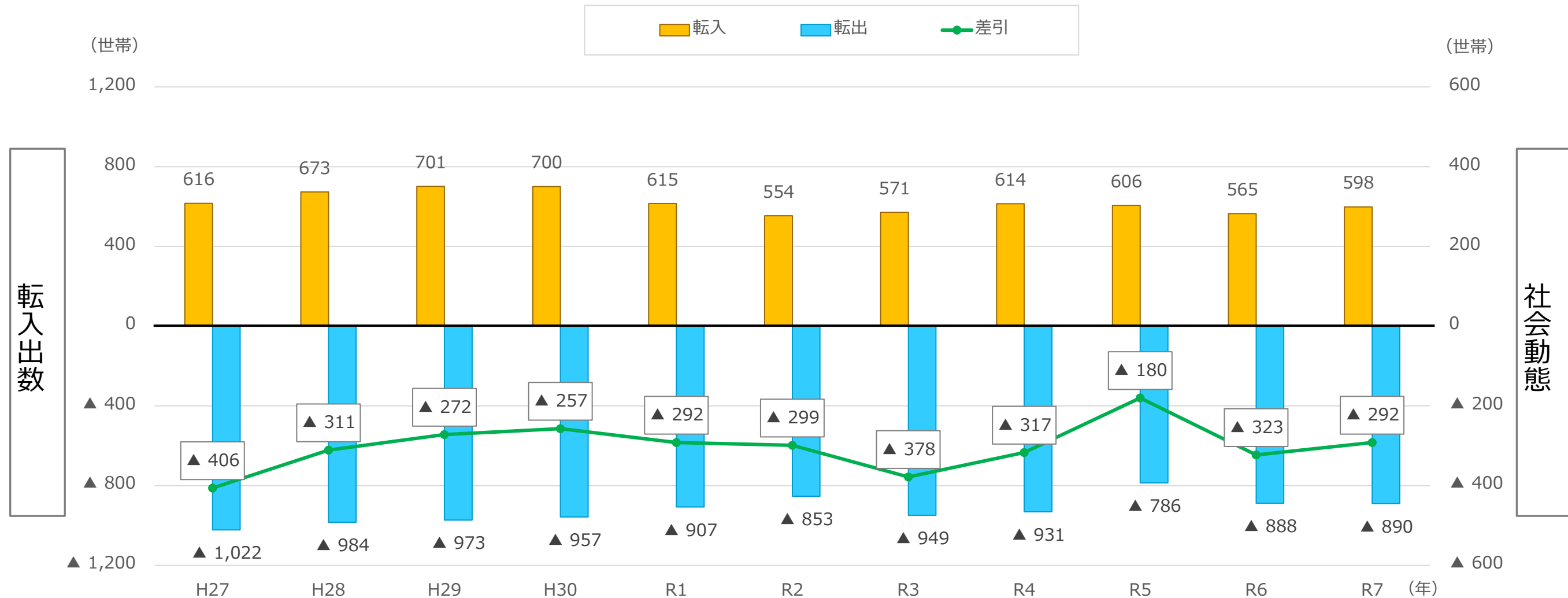
# 二世帯の社会動態（平成24年～令和7年）



## 二世帯の社会動態におけるポイント

- ①二世帯の**転入超過**が**351世帯**に拡大
- ②二世帯の転入は、**20代及び30代前半**が多い
- ③二世帯は、大阪市からの転入超過が大きい。また、伊丹市への転出が増加

# ファミリー世帯の社会動態（平成27年～令和7年）



## ファミリー世帯の社会動態におけるポイント

- ①ファミリー世帯の転出超過数は、▲292世帯で、昨年から横ばい
- ②ファミリー世帯は、**大阪市からの転入超過**が続いている

# 県内自治体の状況

	人口増減	自然増減	社会増減
兵庫県	▲ 28,780	▲ 37,735	8,955
伊丹市	647	▲ 777	1,424
尼崎市	県下2位 500	▲ 2,835	県下2位 3,335
明石市	252	▲ 707	959
芦屋市	▲ 658	▲ 626	▲ 32
川西市	▲ 716	▲ 1,194	478
宝塚市	▲ 1,009	▲ 1,565	556
西宮市	▲ 1,232	▲ 1,739	507
姫路市	▲ 2,959	▲ 3,317	358
神戸市	▲ 6,447	▲ 11,226	4,779

## 【尼崎市の人口が増加】

尼崎市の人口増+500は県下トップクラス

## 【人口が増加した県内自治体は4市町のみ】

1位 伊丹市 +647人

2位 尼崎市 +500人

3位 明石市 +252人

4位 播磨町 +94人

## 【尼崎市の社会増】

社会増+3,335人も県下トップクラス

## 【県内の社会増の上位5自治体】

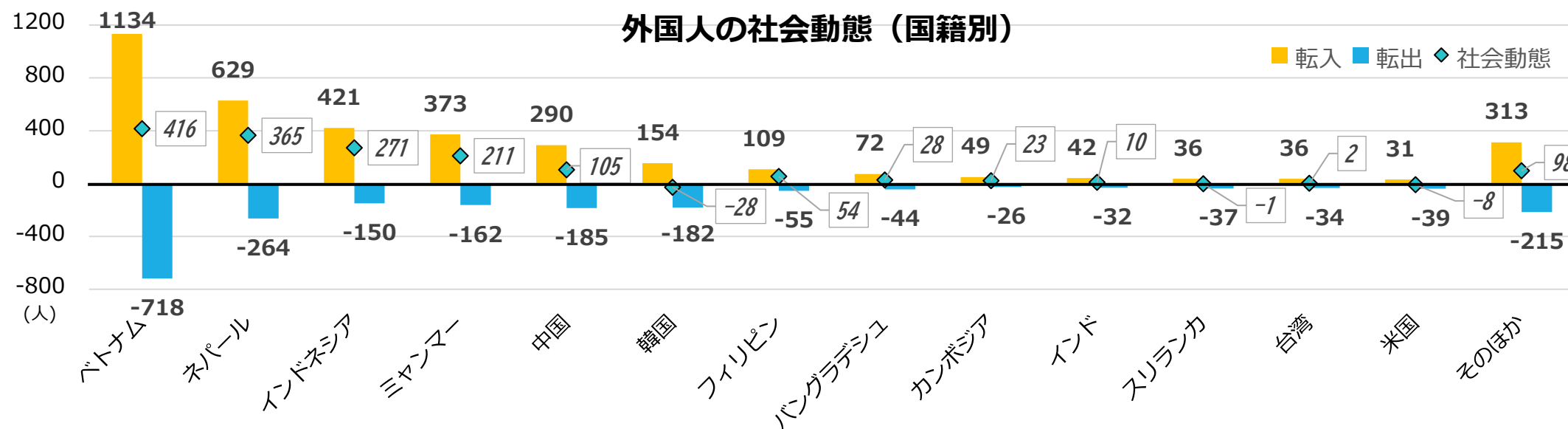
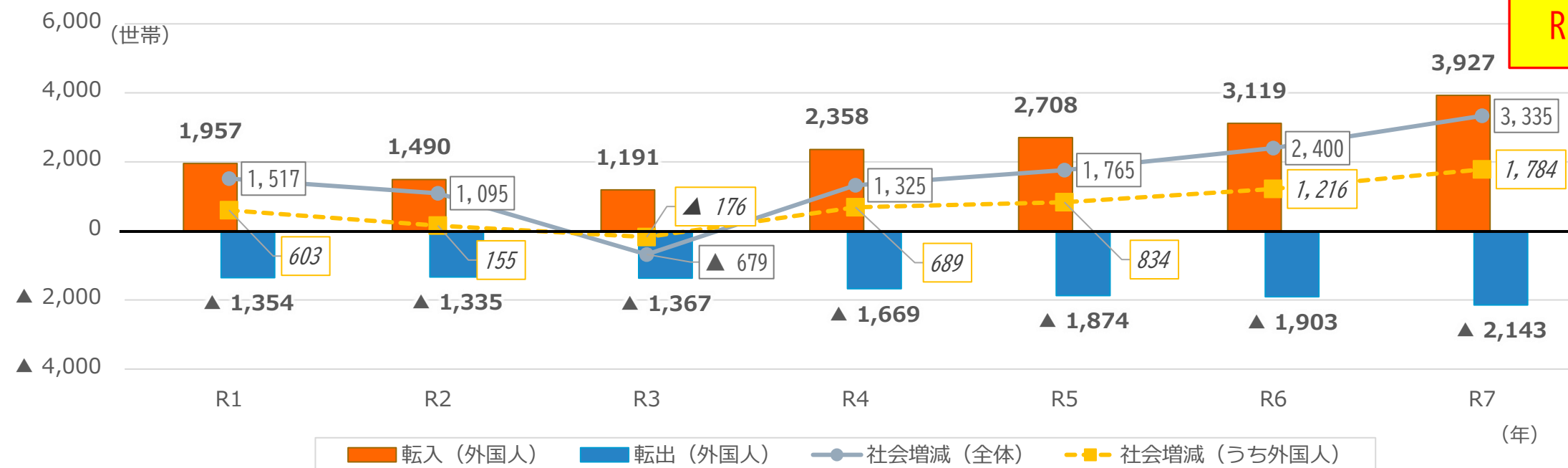
1位 神戸市 +4,779人      4位 明石市 +959人

2位 尼崎市 +3,335人      5位 宝塚市 +556人

3位 伊丹市 +1,424人      6位 西宮市 +507人

## 外国人の社会動態

R7は速報値



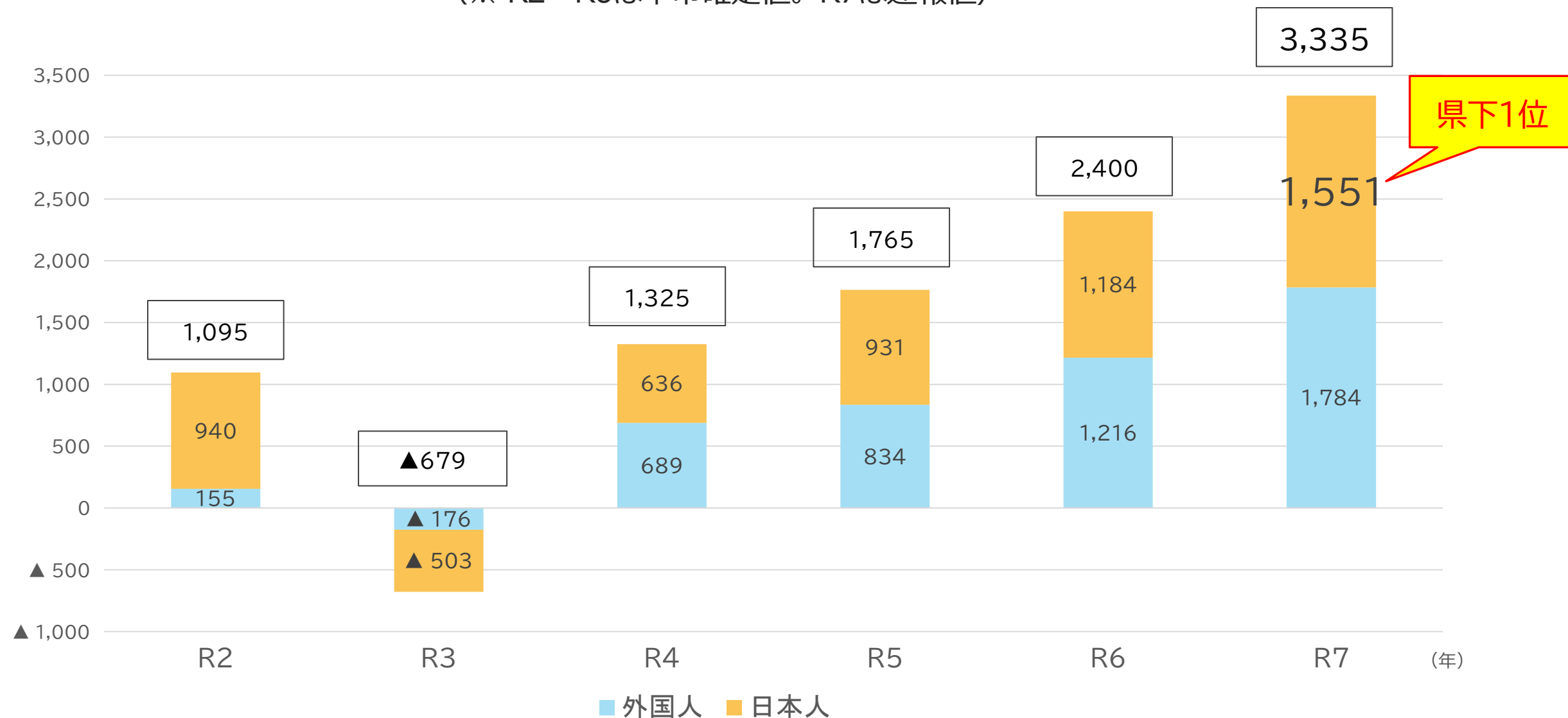
## 外国人の社会動態におけるポイント

- ① 尼崎市の外国人の社会動態は、速報値で1,784人の増(速報であり、今後数値は変動)
- ② 社会増全体は、3,335人。そのうち、半数程度は外国人による増である
- ③ 社会増が大きい国は、ベトナム、ネパール、インドネシア、ミャンマーの順である



# 日本人・外国人の社会動態

(※ R2～R6は本市確定値。R7は速報値)



尼崎市の社会動態におけるポイント

尼崎市の日本人の社会増は**県下1位**！

※ 日本人の数は、社会動態の総数から外国人数を引いた数